

—関連施設だより—

「つなぐ」を使命とした NTT 東日本関東病院

亀山 周二

NTT 東日本関東病院

Our Hospital's Mission "Human Connection"

Shuji Kameyama

NTT Medical Center Tokyo

当院は品川区東五反田に所在し、JR 山手線の内側にあります。五反田駅のほぼ北の方角に位置し、駅からは徒歩 15 分の距離です。緑地の多い閑静な住宅街に位置し、病院のすぐ西側には池田山公園が隣接しています。公園の名称は、備前岡山藩の池田家の下屋敷があったことにちなんでおります。すぐそばには“ねむの木の庭公園”もあり、池田家、正田家と何かと天皇家とゆかりのある土地柄といえます。

まず、当院の沿革について紹介させていただきます。当院の歴史は NTT 本体の歴史と一体化した変遷をとげております。昭和 24 年 6 月、行政機構改革により通信省が郵政省と電気通信省に分割されるに当たり、それまでであった東京通信病院は郵政省に所属することになり、電気通信省としては別に独自の病院を都内に建設することになりました。そこで昭和 25 年 11 月、約 1 万坪余りの敷地を有していた電気通信研究所（通研）五反田本部の三鷹への移転を機に、当地に電気通信省総合病院開設準備室が設置されました。昭和 26 年 9 月、省令により電気通信省関東通信病院の組織が公布されました。昭和 27 年 1 月初旬より関東通信病院として外来診療を開始、同年 3 月初めより入院診療が開始となりました。昭和 27 年 8 月電気通信省が行政機構の改編により廃止となり、公共企業体としての日本電信電話公社（電電公社）となりました。昭和 60 年 4 月 1 日、日本電信電話公社の民営化に伴い、当院は公社附属医療機関から日本電信電話株式会社（NTT）本社病院に移行しました。それまで職域病院として、受診者は職員およびその家族に限定されていましたが、病院のもつ公共性の観点から一般開放の機運が高まり、昭和 61 年 5 月 1 日保険医療機関の指定を受けました。ようやく地元の品川区医師会の諸先生方との「つながり」を得て、現在に至っております。その後は定期的な運営協議会の開催、協働の災害対策訓練など今や強固で親密な地域医療連携を実現しております。



院内「なごみ庭園」側から見た NTT 東日本関東病院

連絡先：亀山周二 〒141-8625 東京都品川区東五反田 5-9-22 NTT 東日本関東病院院長

URL: <http://www.ntt-east.co.jp/kmc/>E-mail: kameyama@east.ntt.co.jpJournal Website (<http://www.nms.ac.jp/jmanms>)

平成 11 年 7 月 1 日、日本電信電話株式会社の再編成により当院は東日本電信電話株式会社（NTT 東日本）の所属となりました。同時に病院名称も、NTT 東日本関東病院に変更されました。私もほかの多くの病院職員と同様、NTT 東日本の 1 社員であります。施設の老朽化に伴い病棟の立て直し工事が実施され、平成 12 年 12 月 4 日に新病院開院となりました。電子カルテその他最新鋭の診断・治療機器を備えた近代的病院に様変わりいたしました。

当院の理念としては、「NTT 東日本の社会貢献の象徴として、医療の提供を通して病院を利用されるすべての人々、そして病院で働くすべての人々の幸せに尽くします」を掲げております。受診される患者さんは、近隣の品川区からが約 3 分の 1 を占め、周囲の城南地区さらに都内まで含めると約 4 分の 3 になります。また、東京都指定二次救急医療機関、東京都災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院などに指定され、文字どおり地域医療の中核病院としての機能を果たしております。常勤職員数は約 1,300 名で、1 日の外来患者さんは約 2,000 名、病床数は約 600 床で、急性期としての病院機能をもっております。そのうち、50 床は精神科の入院病床となっております。また産科診療も担い、年間分娩件数は約 600 件です。平成 26 年からは DPC II 群病院に認定されております。予防医学にも力を注ぎ、今では年間 15,000 人の方にドック受診していただける体制をとっております。

医療の質の改善と安全の確保については、国際的医療機能評価の一つであり厳しい評価で知られる JCI (Joint Commission International) を平成 23 年 3 月に全国で 2 番目に受審し、さらに平成 26 年 6 月に 2 回目の審査に合格しております。しかし、この目標達成のためには、設定した指標の結果を出すだけではなく、PDCA サイクルを回して次の改善につなげるといった継続的な努力が必要と実感しております。

これまで当院には多くの貴学に御縁がある先生方が勤務されております。一部の方のご紹介になりますが、私は泌尿器科部長をつい最近まで勤めておりました。前任は小川秀彌先生でした。貴学脳神経外科主任教授の森田明夫先生は前脳神経外科部長でした。また現在は、緩和ケア科の鈴木正寛医長、皮膚科の久木野竜一医長、産婦人科の上野悠太医師が活躍されています。さらに院外におきましても、品川区医師会会長を歴任された大井中央病院の前田武昭院長、吉田整形外科医院の吉田三夫院長には今も大変お世話になっております。伝統ある貴学とは絆をますます深めて、その関係性を未来にわたって「つなげ」てまいりたいと考えております。どうぞ、何卒よろしくお願い申し上げます。

(受付：2015 年 8 月 13 日)